

## 平成27年度 第3回市民参加及び協働推進委員会会議録

○日 時 平成27年9月9日（水） 午後7時00分～8時30分

○場 所 市役所2階 市長公室

○出席者

・委員 桑原 真紗委員、長ヶ原 美博委員、對馬 明子委員  
富田 實委員、中澤 佳珠代委員、松本 はるみ委員  
三上 聰雄委員、三木 ともね委員

・事務局 協働推進課：古寺課長、下田副課長、藤田主査

○欠席者

・委員 有賀 輝彦委員、松下 崇子委員

○傍聴者 なし

内 容
1. 開 会
2. 委員長あいさつ
3. 議 題
（1）協議事項
①協働事業提案制度について
○募集状況について
・事務局より、「平成27年度富士見市協働事業提案制度 市民提案型協働事業」をもとに説明。平成27年8月1日から31日の期間に、市民提案型協働事業の提案を募集したところ3件の申請があった。富士見市協働事業提案制度実施要綱に基づき提案内容を確認し、審査した結果、2件について協働事業に該当し、1件については協働事業に該当しないと判断した。協働事業に該当すると判断した2件の事業は、今後担当部署と協議を行い、プレゼンテーションを実施する。現在、アイデア提案の申請は0件である。
委 員：提案された協働事業について、担当部署は決まったのか。
事務局：事業の提案内容から、まちづくり推進課と地域文化振興課が、担当部署となっただけように協議を行っている。今後、提案者と担当部署、協働推進課で提案内容について協議し、その結果によっては、提案の内容を修正していただくこともある。
委 員：今後の協議によって、さらに具体的な事業内容になっていくのか。
事務局：現状についても確認し、市としてもより実施しやすい事業となるよう話し

合いを行う。

○審査について

- ・事務局より、「平成27年度富士見市協働事業提案制度審査要領（案）」「平成27年度富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業プレゼンテーションについて」をもとに説明。

委員長：プレゼンテーションにより、各委員は意見を出し、それをもとに委員会としての選考に関する意見をまとめなければならない。委員会として、協働事業の方向性を出すことになる。

委員：提案された事業について、どのようなことをポイントに質問すればいいのか。これまで行ってきた活動についても、質問してもいいのか。

委員：提案された事業の活動を、期間や場所を拡大して行ってもらうことも可能なのか。

事務局：本日の資料だけでなく、提案された事業のプレゼンテーションも見て、審査基準をもとに、質問や意見等を出していただきたい。現在の提案内容は、提案者と担当部署の協議によっては、修正されることも考えられる。プレゼンテーションでは、提案された事業に関する資料が、別に用意されると思う。

委員：各団体の事業の負担金額は、2件の提案ともに同額であるが、理由があるのか。

事務局：団体に負担できる金額が、たまたま同額だったという状況だと思う。協働事業を実施することで、各団体が活動をアピールし、その活動に賛同する人や活動の資金が増えれば、さらに継続的な活動につながっていくのではないか。

委員：補助金の予算は決まったのか。

事務局：選考結果により予算案を作成するので、現段階では決定していない。協働事業提案制度がきっかけとなり、さまざまな活動が事業として実施されるように予算的にも考えていきたい。

(2) 報告事項

①市民参加・協働に関する取り組み状況調査報告について

- ・事務局より、「市民参加・協働に関する取り組み状況調査報告」をもとに説明。

委員：南畑公民館の公民館企画運営委員会は、公民館運営審議会からつくられた会か。

事務局：公民館運営審議会とは、別の会であり、南畑地域における取り組みとなっている。

(3) その他

- ・次回の会議日程について

次回（第4回）10月8日（木曜日）概ね午後8時から開催予定。

(富士見市協働事業提案制度市民提案型協働事業プレゼンテーションを同日 7時から開催し、終了後推進委員会を開催する。)

4. 閉会 對馬副委員長